

令和2年3月31日

学校法人相愛学園

理事長 相田芳久 殿

令和元年度

学校評価総括報告

報告者 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子



理事長
決 済



令和元年度 学校法人相愛学園焼津豊田幼稚園 学校評価の総括

園長 佐野正子

本年は、学校評価に関する事業を進めるにあたり、以下のような経過で作業を進めてまいりました。

1. 各学期における教育活動、学級・学年運営の振り返り(1～3学期)
2. 時期に応じた父母アンケートの読み取り、くみ上げ(1～3学期)
3. 職員各自による自己点検・評価の実施(R2.2月上旬)
4. 保護者アンケートの実施(R2.2月中旬)
5. 各自己評価ならびに父母アンケートの結果を踏まえた施設管理者の自己点検・評価 (R2.2.28 理事長の確認決済)
6. 学校関係者評価委員会の実施(R2.3.4)
7. 学校関係者評価委員会からの報告(R2.3.25)
8. 学校評価の総括を理事長に提出

自己点検・評価の内容については2月28日に報告したとおりですが、その後に実施された学校関係者評価委員会からもプラス評価とともに、いくつかの改善点も指摘されました。来期への改善課題については以下のとおりです。

1. 教育課程と幼児の育ちを照らし合わせながら振り返りをし、幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に沿って学び、教職員間の共通理解を深めていく。
2. 保育の質の向上、教員として的人格統治等に向けて自己研鑽に務める。
3. ベテラン教員と若手教員が教え合い学び合う時間を大切に、明るく元気でまとまりのある教職員集団を目指す。

これらの事項については、令和2年度の課題として真摯に捉え、十分な対応を検討していきたいと考えます。

なお、安全管理、防災・防犯への対処については一定の評価をいただきましたが、大切な園児の命をお預かりする施設として、引き続きさらに万全を期して取り組んでまいりたいと思います。

以上、令和元年度の本園学校評価の総括として報告いたします。

令和元年度の教育活動等に対する学校評価書

令和2年3月31日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園長 佐野正子

〃 学校関係者評価委員長 杉本清美



- 1 幼稚園の教育理念 建学の精神 『あかるく こころゆたかに』
 教育目標 1 じょうぶなからだに
 2 いのちをたいせつに（思いやりのある子に）
 3 やる気のある子に
 4 よく考える子に

2 本年度の重点目標

- 幼児の実態を踏まえながら、教育内容や環境構成のさらなる改善をしていく中で幼児一人一人の育ちを丁寧にとらえる。
- 年間を通じて教育計画全体を精選することで、幼児にとって意味のある生活作りを心掛けていく。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評点	幼稚園としての視点	評点	意見・評価
活動や行事を実施にあたり、幼稚園教育要領や園の教育課程、幼児の発達に即した内容や取り組みになっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の職員会議の中で、幼稚園教育要領の理解を推進すると共に、それを実際の保育に生かしていけるよう具体的な場面について話し合うように心掛けた。 ・保育行事ごとの個々、学年全体での省察を行うと共に次に繋がるよう改善を心掛けた。日々の保育の延長線上に「行事」があること、それらを経験することで子ども一人一人が自信を持てるよう適切に関わる努力をした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動においては園の考え方、取り組みを明確にすることで、子どもそこに至るまでの経過等を伝えていこうしていること、子ども一人一人の成長の詳細を追う努力は評価できません。また、四季折々に有意義な経験ができるよう保護者会とも協力し合い、次年度も取り組んでいかれることを期待します。 ・保護者アンケートの回収率が上がるような内容の改善を望みます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の見とりを大切にし、適切な指導援助が行えるように教職員間で共通理解を図った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境は様々で、同じ世代であってもそれぞれ違います。子どもの思いや姿をしっかりと

<p>幼児一人一人の内面を育むよう個々に応じた指導、援助が考えられているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導を必要とする子どもが増えてきている現状の中、対応を模索中である。指導援助が必要な幼児については個別の指導計画を立案してサポートをしたり、市の巡回相談や専門のカウンセラーによる観察・指導を受け役立っている。保護者とも必要に応じて連絡を取っているが、子どもの育ちについての理解を共有することが難しいこともある。 	<p>B</p>	<p>見取り、その子らしさを引き出すように心掛けている様子を感じとることができました。一人一人の成長の詳細を追う努力は大切なこと。さらに一歩進んで、その子の思いや保護者の思いをくみ取って育てていく努力を今後も地道に続けていってほしいと思います。</p>
<p>園内の施設・設備環境、防災対策等が、幼児が安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの徹底、学校保健安全計画に基づく防災避難訓練の定期実施や、保健衛生指導・食育までトータルな視野で幼児の健やかな成長を守るための努力を怠らないよう努力してきた。 ・園庭遊具等、日常的な目視や点検を行いながら安全管理に務めている。 ・養護教諭の指導のもと、教職員や保護者への情報伝達や対応等、共通理解を図ってきた。 ・新型コロナウイルス対応に苦慮した。消毒液やマスク等、感染予防のための備蓄品も今後考えていかなければならない。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内においてはセキュリティ、安全指導・管理、遊具点検等を通して、子ども達の安全な生活を保障するものとなっていること、園内事故も最小限に食い止めていることは評価できます。 ・満3歳児の保育室が2階になっていることが少し気になります。入園してから階段の上り下りでの怪我は一度もないということがわかり、教職員の皆さんの声掛けや援助の賜物だと思います。油断大敵なのでこれからも留意していただきます。

○自己評価、学校関係者評価を経て、令和2年度への課題として以下の点を挙げました。

1. 教育課程と幼児の育ちを照らし合わせながら振り返りをし、幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の沿って学び合うことで、教職員間の共通理解を深める。
2. ベテランと若手が互いに教え合い学び合う時間を大切にし、保育の質の向上や焼津豊田幼稚園教職員としての人間性の向上に向けて、自己研鑽に務める。

以 上